

1月 新年の恒例行事

12月 第18回新春書き初め大会

新春書き初め大会が体育センターで開催され、子どもから大人まで78人が参加しました。参加者は年齢や学年に応じて課題を決めて、新年の思いなどを書きました。会場に設けられた無料体験コーナーでは、慣れない筆遣いに苦戦する子どもの姿も見られました。作品には「御在所岳」「かもしか」「こま」「お年玉」など孤野町を連想する言葉や新年にちなんだ言葉が並び、入賞作品は1月12日から27日までの期間に役場本庁1階ロビーで展示され、1月27日に同所で表彰式が行われました。



▲集中して書き初めに取り組む子どもたち

1月 今回のテーマは「五郎兵衛地蔵」

20日 手づくり民話絵本コンクール

孤野町手づくり民話絵本コンクールの表彰イベントがけやきホールで開催されました。これは民話を絵本にすることで、町内外を問わず多くの方が民話を楽しみながら知るきっかけとなることを目的としています。こどもの部では山岡ころさん（孤野幼稚園）の「ごろべえじぞうのいえ」が、おとなの部では松岡由香さん（竹成）の「いつもいっしょに～ごろべえとおじぞうさま～」が最優秀賞に選ばれました。松岡さんの作品は製本化され、町スポーツ・文化振興会（町民センター1階）で購入することができます。



▲受賞者全員での記念撮影

1月 本年度に新設した表彰の最初の受賞者

11日 町産業功労者表彰

前町商工会会長の秦辰次さん（杉谷）と前町観光協会会長の矢田正則さん（湯の山）が町産業功労者表彰を受賞し、その表彰式が役場本庁で行われました。これは産業の振興に寄与し、その功績が特に顕著である方を表彰するものです。秦さんは18年間にわたり町商工会会長として商工業の発展に貢献され、矢田さんは16年間にわたり町観光協会会長として観光振興の推進に尽力されました。秦さんは「このような賞をいただき大変光栄です」と語り、矢田さんは「観光のさらなる発展を期待します」と語りました。



▲受賞した秦さん（前列中央右）と矢田さん（前列中央左）

1月 正月の昔ながらの遊びを楽しむ

14日 第17回たこあげ大会

たこあげ大会が朝上小学校グラウンドで開催され、家族連れを含む27組が参加しました。会場ではたこ作りに挑戦する親子も見られ、楽しそうな表情を浮かべながら作業を行っていました。当日は冬の寒さが感じられる気温となりましたが、たこあげには絶好の天候となり、たこは勢いよく大空に舞い上がっていました。



▲製作したたこに好きな模様や絵を描き、色を塗っていく参加者



◀澄み渡った青空に向かって高々と揚がるたこ

12月 携帯電話、スマートフォンの安全な使用方法を提案

21日 八風中学校生徒会が最優秀賞

中学生による発信力を育成する県教育委員会の取り組み「中学生からの提案・発信」で最優秀賞を受賞した八風中学校生徒会の鈴木咲良さん、陣内美滉さん、佐藤 幹さん、高橋杏菜さん、千種涼太さん、水越涼太さん、伊藤匡佑さんが町長を訪問しました。同生徒会では携帯電話やスマートフォンがさまざまなトラブルの原因になっていることに着目し、使用方法に関するルールを作成したことが評価され今回の受賞となりました。生徒会長の鈴木さんは「自分たちの取り組みが結果に表れて嬉しいです」と語りました。



▲前列左から陣内さん、鈴木さん、高橋さん、後列左から伊藤さん、佐藤さん、水越さん、千種さん

12月 いつかは兄弟で日本代表に

26日 浅野雄也さんがプロサッカー選手に

2水戸ホーリーホックへの入団が決定した浅野雄也さん（大阪体育大学4年、竹成出身）がその報告のため町長を訪問しました。浅野さんはドイツでプロサッカー選手として活躍する浅野拓磨選手（ハノーファー96）の実弟です。兄たちの影響でサッカーを始め、大学では持ち味のスピードと精度の高い左足のキックを活かし、昨年の総理大臣杯準優勝、全日本大学選手権3位に貢献しました。今年の抱負について「1年目からチームの主戦力として活躍したいです」と力強く語りました。



▲入団が決定した浅野さん

12月 若手アマチュア吹奏楽団が贈る冬のコンサート

16日 ウィンターコンサートを開催

三重ユナイテッドウィンドオーケストラによるウィンターコンサートが町民センターホールで開催されました。「くるみ割り人形」などの有名なクラシック曲や大河ドラマのメインテーマ曲など馴染みのある曲目を中心に総勢48人が演奏を行いました。また、今回はゲストに町内出身でプロのチューバ奏者として東海地区で幅広く活躍する市川 紘さん（大羽根園出身）を迎え、チューバ協奏曲なども披露されました。満席となった会場に重厚で豊かな音色が響きわたり、聴衆はその響きに聴き入っていました。



▲演奏を行う三重ユナイテッドウィンドオーケストラ

12月 災害の被害を最小限に抑えるために

26日 災害時支援協定を締結

三重県レッカー事業協同組合と町が災害時における緊急通行妨害車両等の排除業務に関する協定を結び、その締結式が役場本庁で行われました。この協定は町内での災害発生時に、同組合員が被災者の救助や緊急車両の通行を妨げる車両等の排除を無償で実施するものです。また高速道路の開通により発生が予想される大型車両の交通事故で大型クレーンによる救助が必要な場合にも活動を行います。同組合の北森浩貴理事長は「町民の皆さんに安心を提供するため、使命感を持って業務を遂行します」と語りました。



▲北森理事長（左）と町長